

| 学年  | 特に育成したい能力や態度<br>(具体的な数字や言葉で記載する)<br>2～3にしぼる。  | 授業改善の視点と具体的な方策<br>(具体的に達成すべき数値目標を記載する)<br>左側のものとリンク【対応させる】   | 達成率【割合】<br>A・・・90%以上の児童<br>B・・・90～80%の児童<br>C・・・80～70%の児童<br>D・・・70%以下の児童   |
|-----|---|--|---|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら学習に取り組む態度。</li> <li>・範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能。</li> <li>・楽器の基本的奏法の定着、リズムや音色、速度、強弱に気を付けて演奏する技能。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や言葉によるコミュニケーションを図りながら、身体表現を効果的に取り入れ、授業内容を工夫する。</li> <li>・範唱をよく聴いたり、視聴覚教材を用いたりして、音程、リズム、速度、強弱などに気を付けながら繰り返し模唱や暗唱に取り組む。</li> <li>・視聴覚教材を用いて、教師が丁寧に手本を示す。</li> <li>・児童が親しみやすく手軽に器楽表現を楽しむことができる楽器から取り組む。</li> <li>・リズムや音色、速度、強弱に気を付けながら教師や友達の演奏を聴いたり、聴きながら一緒に演奏したりする。</li> </ul>   | <p>【成果】音楽活動をする楽しさを感じながら、リズムや音色、速度、強弱に気を付けながら歌ったり演奏したりすることができた。(B)</p> <p>【課題】身体表現や楽器の基本的な楽器の奏法については活動が不十分のため、次学年で指導する。</p>  |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、進んで学習に取り組む態度。</li> <li>・思いや意図にあった表現をするために必要な歌唱や演奏する技能。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容とかかわりに気付き、曲の特徴を捉えた表現を工夫する能力。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や言葉によるコミュニケーションを図りながら、身体表現を効果的に取り入れ、授業内容を工夫する。</li> <li>・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う。</li> <li>・音色や響きの違いについて考えたり、互いの楽器の音を聴き合ったりして演奏するよう指導する。</li> <li>・自分の思いや意図を言葉や音楽で伝え合う場を設け、繰り返し演奏する活動を取り入れながら、表現を工夫する楽しさを感じさせる。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容とかかわりや音楽の記号や用語について学習し、教師の模唱・模奏を聴いて、スタッカートやスラーなどの表現方法や強弱や速度などの違いによる表現方法を指導する。</li> </ul> | <p>【成果】互いの楽器の音を聴き合ったりして演奏することや、曲想と音楽の構造や歌詞の内容とかかわりや音楽の記号や用語について知ることができた。(B)</p> <p>【課題】表現を工夫する能力が不足している。自分の思いや意図を言葉や音楽で伝え合う場や、活動表現を工夫する活動を取り入れる。</p>                    |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、主体的に学習に取り組む態度。</li> <li>・思いや意図にあった表現をするために必要な歌唱や演奏する技能。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容とかかわりや楽器の音色と響きについて理解し、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する能力。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や言葉によるコミュニケーションを図りながら、身体表現を効果的に取り入れ、授業内容を工夫する。</li> <li>・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う。</li> <li>・良い音色や響きについて考えたり、互いの演奏を聴き合ったりしながら合奏するよう指導する。</li> <li>・自分の思いや意図を言葉や音楽で伝え合う場を設け、繰り返し演奏する活動を取り入れながら、表現を工夫する楽しさを感じさせる。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりや音楽の記号や用語について学習し、様々な表現方法を試しながら、曲の特徴にふさわしい表現を見つけるよう指導する。</li> </ul>             | <p>【成果】呼吸及び発音の仕方に気を付けた響きのある歌い方で歌うことができてきた。また、良い音色や響きについて考えたり、互いの演奏を聴き合ったりしながら合奏できるようになってきた。(C)</p> <p>【課題】表現を工夫する能力が不足している。自分の思いや意図を言葉や音楽で伝え合う場や、活動表現を工夫する活動を取り入れる。</p> |

